



2016 年 11 月 24 日
松井産業 株式会社

News Release

各 位

VRの家と本物の家、 完成見学会で見比べよう！

現地にHMDを持ち込み、リアルと仮想のイメージを擦り合わせ

松井産業株式会社(本社：埼玉県三郷市、代表取締役社長：松井宏之)は、注文住宅の現地完成見学会において、HMD（ヘッドマウントディスプレイ）を使った VR（バーチャルリアリティ）を導入します。

施主様が注文された設計図面から書き起こした仮想空間上の住宅と、現地で竣工したばかりの実際の住宅を見比べていただき、これから住宅建設を検討される顧客に、完成時のより具体的なイメージを思い描いていただくことを目的としています。



（上）VRを設定中の当社社員

（左下）竣工間近のK様邸（2016. 11. 22 撮影）

「完成見学会 VR+」の第1回は、2016年11月26日（土）・27日（日）10：00～16：00、三郷市彦成1丁目のK様邸にて開催、第2回は、同12月17日（土）・18日（日）10：00～16：00、三郷市彦倉1-89のY様邸にて開催予定です。

また2017年1月8日（日）10：00～15：00には、松井産業本社にて、顧客約400名をお招きして恒例の「新春お得意様 大感謝祭」を開催しますが、そちらでもVRを使った同様の体験をしていただく予定です。

松井産業は埼玉県三郷市と吉川市を中心に、注文住宅の建築、リフォーム、不動産仲介管理を主力事業としています。このうち注文住宅では、岡山県津山市に本部を置く「イシンホーム住宅研究会」（約230社）に加盟しており、「イシンホーム」のブランド名で木造住宅を建設しています。

「イシンホーム」は、ソーラーパネルをリース契約で設置し、初期費用を抑え売電収入でリース料・住宅ローンの負担を軽減するプラン「ZERO SECH」、高断熱、24時間換気、省エネ設備、家事動線の短縮等において、商品の優位性があります。

今回完成見学会を開催する2邸も、同様の仕様・性能を備えており、現物としてこれらをご覧くださいのは従来通りですが、VRを現地に持ち込むことで、より体験型の多面的なプレゼンテーションを顧客に行ってまいります。

また今まで顧客との設計打ち合わせは、当社ショールームにてPCと大型テレビをつないで行ってまいりましたが、携帯性にすぐれたHMDの登場により、建設地でのお打ち合わせも、より満足度の高いものになると期待されます。

＊松井産業は、埼玉県三郷市で大正11年（1922）に創業。
呉服屋からスタートし、米穀商、鶏卵販売、飼料販売、鶏肉店と、時代に合わせて本業を次々とイノベーション。
現在は不動産仲介、住宅建設、介護事業を手掛けており、
2017年に95周年を迎える老舗の地域密着企業です。



◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

松井産業株式会社 広報室（広報担当：大山 雅史 携帯:090-9380-4740）

本社所在地：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成1-1

TEL：048-957-3211（水曜日定休） FAX：048-959-2818

e-mail：kouhou@matsui-sangyou.co.jp